

# 無 聖

第80号



◆「一味同心」～新たな時代に向かって～

会長 神作紹道…………… 2

◆「慰霊行脚」報告…………… 3

◆「令和元年東日本台風」  
災害支援活動報告…………… 4～7

◆第25回チャリティーバザー報告…………… 8

◆令和元年度第2回研修会 報告…………… 9

◆傾聴行茶活動報告…………… 10

◆令和元年度会員大会報告…………… 10

◆サンタピアップみやぎ活動報告…………… 11

◆第44回東北地区曹洞宗青年会  
東北地方集会「福島大会」報告…………… 12

◆事務局だより…………… 12





会長挨拶

# 「一味同心」～新たな時代に向かって～

第26期会長 清凉寺 副住職 神作 紹道

平素は宮城県曹洞宗青年会に對しまして、会員の皆様、県内寺院の皆様のご協力とご理解を賜り、謹んで感謝申し上げます。

宮曹青第二十六期は「一味同心」新たな時代に向かって」をスローガンに掲げ、これまで五十年の歴史を継承し、新たな五十年の発展を建設する為、一丸となって活動してまいります。今期も一年を過ぎまして、振り返りますと

## ○宮曹青・宗務所共催 ソフトボール大会

令和元年六月六日 寛谷市総合運動公園グラウンド  
天候にも恵まれ四十六団体三百名超えの参加を頂戴しました。怪我などの不測の事態に備える為、看護師の方に常駐いただきましたが活躍されることなく、無事に会員相互の交流と親睦を深めることができました。

## ○第一回研修会

令和元年七月十七日 岩手県正法寺専門僧堂  
僧堂修行の実践に立ち返ることを目的に、嘗て第三の本山とされた歴史ある道場に赴く形で研修会となりました。拝登諷経、開山堂焼香、諸堂拝観、僧堂内外単での坐禅、さらには盛田正孝堂長老師より「弁道から布教、勤求菩提と教化衆生」をテーマに法話をいただき、教えを布くにはそれに足る自己の研鑽、参禅弁道の裏付けが必要不可欠であることを学び得た研修会となりました。

## ○傾聴行茶活動「仏一息 ほっとひといき

令和元年八月四日 志津川復興住宅中央団地集会所  
※今号活動報告をご覧ください。

## ○カンボジア教育支援 チャリティイーバザー

令和元年九月五日 東松島市大塩地区体育館  
※今号活動報告をご覧ください。

## ○台風十九号災害

令和元年十月十二日に上陸した台風十九号により甚大な被害のあった大郷町を中心に土砂撤去作業、瓦礫撤去作業をおこないました。また、丸森町方面には支援物資を複数回お届けさせていただきました。被災された方々の一刻も早い回復を願いながら、今後は傾聴活動など継続的に支援させていただきます。

## ○第二回研修会

令和元年十一月十一日 林香院  
※今号活動報告をご覧ください。

## ○令和元年度 宮城県曹洞宗青年会 会員大会

令和二年二月六日 ホテルグランテラス仙台  
会員大会は例年、三部構成で開催しております。今回は第一部として、全国曹洞宗青年会が制作した映画「典座」を上映させていただきました。第二部ボーリング大会、第三部懇親会も多くの会員の方々にご参加をいただき盛会となりました。正会員（寺院）と特別会員（企業）という違いはあれども、人々の安寧を願い行動するもの同士「一味同心」に会し、行動を共にできる機会がありますことは、当会の大きな特徴であると共に、大きな財産であると感じています。

## ○東日本大震災 石巻市大川地区慰霊行脚

令和二年三月十一日  
東日本大震災後、毎年三月十一日には、全国曹洞宗青年会や他県青年会の随喜を頂戴して修行してきました慰霊行脚ですが、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、止む無く、県内外僧侶の方々の随喜をご遠慮いただきました。縮小しての行脚となりましたこと、ご了承願います。

## ○サンタピアップみやぎボランティア会

・カンボジアフェア in 藤崎  
令和元年十一月十二日、十三日  
・カンボジアフェア in SELVA  
令和元年十一月十八日、十九日、二十日  
・バタンバン州アンブ・ルー小学校贈呈式  
並びにカンボジアスタディツアー  
令和二年二月二十二日より、バンコク経由にてカンボジアスタディツアーの予定でありましたが、新型コロナウイルス感染が世界で拡大している影響で、渡航中止の判断をいたしました。贈呈式に参加することはできませんでしたが、学校建設は順調に進み、無事に新校舎が建設されたとSVA（シャンティ国際ボランティア会）より報告を受けました。カンボジアの子供たちに直接贈呈する予定であった文具や遊具は現地SVA事務所にて代理購入を依頼しお渡しいただきました。

この他にも、諸行事への随喜・下準備など、会員の方々に、多くの時間を青年会活動に費やしていただいております。青年会活動は、対価が発生するものではありませんのに、布施行の実践として参加をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

活動を通して触れ合う方々へ、喜びや安心を感じていただけたことが当会の目的であり仏道ではなかるうかと信じております。不安定な世の情勢には憂えることが多分ありますが、今後も宮曹青会員相互の活動を通し、法灯を掲げていければと考えております。

新型コロナウイルスの影響で、今後の事業も例年通りの開催ができない可能性があります。その時々々の情勢の変化に対応しながら判断して参る所存です。

会員各位、県内寺院の皆様の一層のご協力とご理解のほど、伏してお願ひ申し上げます。

合掌

# 宮城県曹洞宗青年会 『慰霊行脚』 報告

◆実施日時…令和二年三月十一日(水)

◆場 所…石巻市大川地区

◆行脚行程…海蔵庵本院様、龍谷院様、釜谷霊園、観音寺様、旧大川小学校

震災から九年を迎える三月十一日、本来なら県内外からたくさんの方々にご随喜をいただいていた慰霊行脚を修行のほずでありましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康・安全を最優先に考慮し、当会として残念至極ではあります。縮小しての実施とさせていただきます。

第十二教区 海蔵庵住職 佐竹泰生老師、同教区理事 建立寺住職 坂本頭一老師のご協力のもと若干名での慰霊行脚をさせていただきました。慰霊碑の前に手を合わせる方々の姿を見ると、あらためてあ

日起きた東日本大震災の惨さ、悲しさ、辛さを私たちに教えてくださいました。

宮城県の宗侶として、これからも被災地の方々に心を寄せて活動を続けていかなければいけないという意を強くした一日となりました。来年こそは多くの方々にご随喜を賜り、慰霊行脚の修行をしたと考えております。その為にも一日も早い感染流行の影響が終息に向かうことを願ってやみません。以上、ご報告とさせていただきます。

事務局長 牧野隆信



## 新型コロナウイルス感染被害による影響について

昨年末より発生・流行が始まったとされる「新型コロナウイルス(COVID-19)」の感染被害が、1月中・下旬頃より本格的に社会への影響を及ぼす様相となってまいりました。

日本でも1月下旬ごろから海外渡航等への影響、2月中旬頃からは国内への感染流入に対する警戒措置が講じられ始める等といった事態が進行し、室内での集会や大人数の集まる各種イベントの開催自粛などが広がっております。

当会活動においても、カンボジア現地にて行われる小学校贈呈式の渡航・参加をやむなく見送りました。県内の感染状況に照らし合わせ、会員大会こそ開催が適いしましたが、その後日本国内の感染

予防の対応が進む中で、東日本大震災以来続けてまいりました慰霊行脚は最小限度の形にて実施、第5回役員会・理事会は開催可否を検討しインターネットを用いた確認・報告といった運営の実施など、出来得る限りの対策を講じております。

今後の流行による社会情勢への影響が予想のつかない中ではありますが、今後の宮曹青の活動にも影響は必須の事と考えられます。会運営のご協力に際しまして諸々のご負担をおかけすることもあるかと思いますが、未曾有の事態に臨む事と鑑みご理解を頂きますようお願い申し上げます



# 令和元年 台風19号災害

令和元年十月十二日夜、伊豆半島に上陸した台風第十九号（令和二年二月十九日、気象庁の定める基準により「令和元年東日本台風」と命名）が翌十三日正午頃に三陸沖で温帯低気圧に変わるまで日本列島を縦断した影響による大雨・暴風は、県内各地で甚大な被害をもたらしました。

本年八月に九州地方を襲った「令和元年九州豪雨」、九月に関東地方を中心に被害が発生した台風第十五号（令和二年二月十九日、気象庁の定める基準により「令和元年房総半島台風」と命名）が激甚災害が指定とされましたが、「令和元年東日本台風」は「激甚災害」、特定非常災害特別措置法の「特定非常災害」、大規模災害復興法の「非常災害」それぞれの適用がなされました。

宮曹青では各地の被害情報の確認と情報共有を行うために、十四日夕方に臨時役員会を開催しました。東日本大震災を契機に設定された「災害対策および災害支援のガイドライン」に基づき、災害時の緊急対応について検討がなされ、情報収集と一元化、現地視察と緊急支援物資受け入れ状況を探る為の先遣視察の派遣、加えて臨時の災害対応体制の構築が話し合われました。

十月十六日までの緊急支援物資搬入・現地視察の結果、吉田川決壊箇所に向した大郷町糟川寺様にての本堂・庫裡・境内地内の土砂・がれきの撤去作業が可能と判断され、翌十七日より被災支援活動を開始しました。

## 大郷町（糟川寺様）







## 丸森町（現地視察、支援物資運搬）







村田町 (洞昌寺様)



## 令和元年 台風19号災害

「令和元年東日本台風」の被災地支援では、現地の支援受け入れ状況について情報を収集するにあたって支援内容の模索がありました。二十五日に行われた丸森町・角田市での支援物資搬入の際には、現地寺院様のご協力を頂き山村各地域の集落避難所への物資搬入を行いました。河川や道路などの至る所で自衛隊の重機が作業し、緊急の復旧作業が進められ、各自治体ではボランティアセンターの開所に向けた準備が進められていました。気象状況によっては災害の拡大が心配される中、青年会が可能であろう手作業などによる災害復旧活動は見通せない状況がしばらく続きました。

大郷町、村田町での土砂などの撤去作業や、支援物資の搬入と併せた現地状況の視察が行われ、災害発生時点での緊急支援活動は一区切りとなりました。これより先の支援活動については、現地の状況について情報の提供を呼びかけながら判断していく段階を迎えました。

今回の無聖発行の準備を進める中で、新型コロナウイルス流行への対応が日本各地に広がっております。県内においては東日本大震災からの復興が進められていた中で、新たに自然災害見舞われた地域の復旧・復興、加えての感染症対策という事態となりました。「令和元年東日本台風」によって被災された方々の心情は察するに余りありますが、地元青年会として支援できる活動を続け復興の一助を担っていききたいと思います。

(編集記)

### 宮城県曹洞宗青年会 災害支援活動タイムライン

月日	事項	場所	備考	
10月	13日	現地視察	丸森町方面	事務局長
	14日	現地視察	大郷町方面	庶務1名
	14日	臨時役員会(県内被害等確認)	仙台市 東禅院(第1教区)	
	14日	現地視察	柴田町方面	監事1名
	15日	支援物資運搬・現地視察	丸森町 西圓寺(第6教区)	会長・事務局長
	16日	支援物資運搬・現地視察	丸森町 瑞雲寺(第6教区)	副会長2名
	16日	現地視察	大郷町 糟川寺(第7教区)	会長・事務局長
	17日	本堂内・庫裡内・境内瓦礫撤去作業	全	17名参加
	18日	本堂内・庫裡内・境内瓦礫撤去作業	全	15名参加
	18日	支援物資運搬・現地視察	丸森町役場(支援物資集積所)	事務局長・3名参加
	20日	本堂内・庫裡内・境内瓦礫撤去作業	大郷町 糟川寺(第7教区)	14名参加
	21日	境内・墓地瓦礫撤去作業	全	17名参加
	23日	境内・墓地瓦礫撤去作業	全	10名参加
	24日	境内・墓地瓦礫撤去作業	全	30名参加
	25日	支援物資運搬	丸森町内集会所(3ヵ所)角田市(避難所)	事務局長・10名参加
	28日	境内・墓地瓦礫撤去作業	大郷町 糟川寺(第7教区)	19名参加
11月	4日	境内土砂撤去作業	村田町 洞昌寺(第5教区)	19名参加
	15日	避難所視察・支援物資運搬	角田市ウェルパーク	4名参加

※ 現地活動は役員・各委員会・申出を頂いた会員などにより行う。(役職等略)





今回で二十五回目の開催となったカンボジア教育支援チャリティーバザーを、会場教区として快くお引き受け頂きました第十一教区の青年会様はじめ、賛助会員御寺院様、寺族会様、婦人会様、協力団体様のご理解とご協力のもと無事開催することができました。その地元教区の皆様中心のチラシ配布、折り込みチラシ等の地道な広報活動のおかげで、当日は三百人を超える方に来場して頂きました。多くの方に来場頂き商品を完売できましたことは、ご協力頂きました皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

他にも養育支援が必要な子供たちの援助を行っている「NPO法人みやぎ子ども養育支援の会」（代表木村孝禅師）のブースも開いて頂きました。さらに今回は今年八月に九州北部を襲った豪雨災害への募金活動も呼びかけました。お預かりしました募金は日本赤十字社にお渡ししました。東松島市は東日本大震災で多くの方が被災をされた地域であり、この体育館にもたくさんの方が避難をされたとお話を伺っております。そのようなことがあったにも関わらず今回来場いただいた皆様にはカンボジアへの教育支援、そして九州豪雨への支援にご理解頂き、商品の購入、募金等頂きましたこと大変ありがとうございました。

今期の宮曹青のスローガン「一味同心」の思いのもと、バザーに向けて皆で準備を重ね、来場頂いた皆様の為、ひいてはカンボジアの子供たちの笑顔のため、正会員一丸となって進めることができました。今回のこの経験を今後の活動へと繋げていくとともに、カンボジアのさらなる発展を願いまして、皆さまにご報告いたします。

（ボランティア委員長 時 泰広）



開催日時	令和元年9月5日(木) 午後9時50分整理券配布 午後12時30分開場 午後1時00分(販売開始)～午後2時00分(販売終了)
開催会場	東松島市大塩地区体育館(会場教区:第11教区)
参加者	200名(前日準備含む延べ人数) ・9月30日(準備会)合計107名 (内訳:宮曹青会員75名、会場・第11教区(賛助会員・寺族会・婦人会)21名、協力企業5名、大塩地区体育館事務所スタッフ6名) ・10月1日(当日)合計93名 (宮曹青会員72名、会場・第11教区(賛助会員・寺族会)16名、協力企業5名)
来場者総数	325名
販売商品数	4,514点
総売り上げ	1,389,600円 ※売上金は、全額サントピアップみやぎボランティア会へ寄付
商品売り上げ	1,378,600円
令和元年九州北部豪雨災害会場募金	10,918円 ※日本赤十字社へ寄付
サントピ会場募金	30,434円
エコバック売上	11,000円



## 令和元年度 第2回研修会 報告

令和元年十一月十一日(月) 仙台市林香院様を会場に、北海道正覚院住職、特派布教師、松村直俊老師を講師にお迎えし研修会を開催いたしました。当日は正会員五十名の方々にご参加いただきました。

演題を「等身大の法話〜自分のことばで話す、語る、伝える〜」にて、前半の講義では「法話は自身をさらけ出すカミングアウト」との持論を述べることに始まり、ご自身でお勤めになった一般檀信徒に向けた成道会のご法話を実演していただきました。講義開始直後の会場は緊張感で静まり返っていましたが、一瞬で和やかな雰囲気に変えてしまう老師のお人柄には只々驚かされるばかりで、終始笑い声の絶えない異例の研修会となりました。

講義の後半では、通夜や法事での法話に取り入れるべき三宝印や四摂法の教えについてもご説明をいただき、熱心にメモを取る会員の姿も多くみられました。松村老師は、法話の柱となるのは自身が納得する教えであり、そのためには法を咀嚼して自身のものとする日常の努力が必要であること、反省と懺悔を繰り返すことで等身大の自分が現れることを熱心に説かれ、講義を締めくくられました。

図らずも本年二回の研修会に共通したテーマは「布教者の日常底こそが法話の根本である」というご教示でありました。本年度の研修会が参加していただきました会員それぞれの布教活動の一助となれば幸いに存じます。

(研修委員長 渡邊 桂堂)



今回講師をお引き受けいただいた、北海道正覚院住職 特派布教師 松村直俊老師様





# 傾聴行茶活動「仏一息」

【日時】令和元年八月四日（日） 十四時より  
志津川復興住宅中央団地集会所

傾聴行茶活動「仏一息」を志津川復興住宅の中にある中央団地集会所にて行いました。

当日は、曇りの中晴れ間がのぞき、気温が三十二度ではありませんでしたがとても過ごしやすい天候でした。今回の傾聴活動は復興住宅側から夏祭りを開催したいとの要望を頂きましたので、東京大学ボランティアサークルの方々と一緒に夏祭りのお手伝いをさせて頂きました。私たちはかき氷、東京大学のボランティアサークルの方々は水ヨーヨー釣りや輪投げの出店をしました。教化指導員の演劇もあり、来場した復興住宅の皆様は楽しく時間を過ごしていただけたようでした。

昨年に引き続き今年も流しそめんをみんなで作り、婦人部の方々がそめんをたくさん用意していただいたので、みんなで流れてきたそめんをおなか一杯



頂戴しました。食後には子供たちにスライ力割りを楽しんでもらい、和気あいあいとしたとても楽しい時間を過ごすことができました。

帰り際に自治会長さんから『私達は色々な地域から集まってきているため、地域のコミュニティの為に色々考えながら挑戦しているところです。今後このように手伝っていただけると嬉しいですよ。』とおっしゃられていました。当会も今後できる範囲の中ではございますが、引き続き手助けしていきたいと思えます。

「ボランティア委員長/時 泰広」

◆活動内容/演劇、流しそめん、かき氷、水ヨーヨーすくいなど

◆正会員/七名、教化指導員八名、東京大学ボランティアサークル十名  
◆来場者/七十名

# 令和元年度会員大会報告

- ◆開催日時：令和二年二月六日（木） ◆会場：ホテルグランテラス仙台
- ◆第一部/演題「典座から学ぶ生き方」 映画「典座—KENZO—」上映  
講師 山梨県耕雲院副住職 河口智賢師
- ◆第二部/ボウリング大会 ◆第三部/懇親会

第一部では、映画「典座—KENZO—」を鑑賞し、山梨県耕雲院副住職河口智賢師より「典座から学ぶ生き方」と題し、ご講演を賜りました。禅の食文化を通じて、いま私たちひとりひとりができることとは何だろうか、あらためて考えさせられる内容でした。質疑応答の際、参加された特別会員の方から東日本大震災当時、支援いただいた、おにぎり、のこを思い出し、「あらためて食のありがたみ、家族のありがたみを再確認したことが思い出された。今後、もし自分が逆の立場であれば同じように支援をしていきたい。」と仰っていた、たく場面もありました。

この他、ご参加いただいた皆様からも大変示唆に富んだ有意義な時間とお声を頂くことができました。ご報告申し上げます。

「事務局長/牧野隆信」

第二部 ボウリング大会は、各レイン正会員・特別会員の枠を超えてチームプレーの下、珍プレー好プレーに歓声が沸き上がり、終始和気藹々とした雰囲気の中、怪我也無く無事に大会を終えることが出来ました。

第三部 懇親会 ボウリング大会表彰式においては、第二部からの雰囲気もあり会員相互の親睦も深まり盛会裏に終えました。ご報告申し上げます。

「交流事業委員長/笠松秀俊」





## 宮曹青主管 カンボジア教育支援活動 サンタピアップみやぎボランティア会

### 新校舎「アンプ・ルー小学校」を寄贈

この度、通算二十校目の小学校を贈呈させて頂くことが出来ました。詳細は後日発行致しますニュースレターにてお知らせ致します。



「令和元年度支援内容」  
一棟三教室校舎・祠・トイレ・貯水タンク・文具・備品等

### 「カンボジアフェア」藤崎開催報告

#### 「カンボジアスタディツアー」中止のお知らせ

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受けまして、令和二年三月二十二日～三月二十七日に予定されておりましたカンボジアスタディツアーを中止とさせて頂きます。会員の皆様の健康と安全確保の為、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。



●日時：令和元年十一月十二日～十三日  
●会場：仙台市青葉区一番町「藤崎」街頭アーケード内  
●来場者：約四〇〇名以上（二日間延べ）  
●スタッフ：三十六名（二日間延べ）  
クラフト販売／売上合計 五九、六九七円  
募金／募金合計 八五、八三二円  
写経販売／九〇〇円  
ハガキ提供／四〇〇枚

### 「カンボジアフェア in SELVA」開催報告

●日時：令和元年十一月十八日～二十日  
●会場：仙台市泉区中央「SELVA」二階  
●来場者：約二〇〇名（三日間延べ）  
●スタッフ：四十五名（三日間延べ）



・クラフト販売  
売上合計 四九、七〇四円  
・募金  
募金合計 五二、四七一円  
・写経販売 一、二〇〇円  
・ハガキ提供 二七〇枚

### 各イベント等での活動（ブース設置）

※藤崎、SELVA共に、ご来場の方にはホシヤマ珈琲店様提供の美味しい珈琲を飲みながら、小学校贈呈式の様子などの映像もご覧いただきました。

各会場にて活動紹介・カンボジアパネル展示・クラフト販売・募金活動などをさせて頂きました。

- 「石巻・金蔵寺 寺フェス」  
令和元年六月三日 於 石巻市金蔵寺
- 「カンボジア教育支援チャリティバザー」  
令和元年九月五日 於 東松島市大塩市民センター
- 「宮城県梅花流奉詠大会」  
令和元年十月三日 於 仙台サンプラザホール
- 「食ベメッセ×観光と物産のPR会」  
令和元年十二月一日 於 東松島市コミュニティセンター

### 「ハガキリサイクルキャンペーン」中間報告

この一年間で皆様に収集頂いた書き損じハガキと切手の集計作業を行いました。全国の御支援者様より沢山のご提供を頂き誠に有難うございます。

●日時：令和二年二月二十六～二十七日  
●会場：サンタピアップ事務局  
●集計作業：参加二十六名（二日間延べ）

「集計結果」  
書き損じはがき 合計一五、七三三枚  
切手 額面換算 合計一六五、二六七円

皆様からお寄せ頂いた書き損じハガキや切手は、新しいハガキや切手に変えて、県内御寺院様や団体企業様にご購入頂き、その売り上げをカンボジア教育支援費として活用させて頂いております。

### 「オリジナル卓上カレンダー2020」販売報告

今年度もオリジナルカレンダーを作成・販売致しました。お陰様でたくさんのご注文を頂き、各事業収益と共に教育支援費として活用させて頂きました。

「カレンダー制作販売数」  
二、九三九部（二部 三〇〇円）  
売上合計 八八一、七〇〇円

### 一枚のハガキや切手が支えます

#### ■書き損じハガキの送り先

〒984-0051

仙台市若林区新寺2-2-11（新寺211ビル1階）

仙台新寺郵便局留「サンタピアップ」宛

#### ■支援金の送り先

郵便振替口座

名義 サンタピアップみやぎボランティア会

□座番号 02290-6-48744

#### ■サンタピアップ事務局

〒984-0051

仙台市若林区新寺3-7-1 光寿院内

TEL：080（3144）3020（専用）

FAX：022（292）1277

E-mail：info@santapi.com

ホームページ：http://www.santapi.com/

事務局長 阿部 真龍



第四十四回  
東北地区曹洞宗青年会東北地方集會  
福島大会

令和元年十月二十二日（火・祝）福島県福島市  
テルサ福島において第四十四回東北地区曹洞宗青  
年会東北地方集會福島大会が開催されました。

大会では「生きる」をテーマとして掲げ、次の  
通りの内容にて進められました。

令和元年台風被害の影響が心配される中では  
ありましたが、当会からも会員が参加し、無事  
円成となりました。

第一部：講演会／水谷修氏（夜回り先生）  
第二部：ライブ講演／竹原ピストル、ave、  
チェリーボーイズによる



令和元年度正会員卒業の方々

六教区	自照院	徒弟	錦織誠道
六教区	常照寺	副住	石川素宏
六教区	喜松院	副住	村上尚幸
七教区	當寿院	住職	秋山正明
八教区	皆傳寺	徒弟	天野宏心
十一教区	潤洞院	住職	二階堂法淳
十二教区	江林寺	住職	武山悟峯
十三教区	法山寺	副住	北村暁秀
十四教区	大龍寺	住職	千田道明
十六教区	清涼院	副住	三浦賢道
十八教区	洞松院	住職	小柳智海
二十一教区	東泉寺	住職	眞山隆宏

※無聖七十九号（前号）にて、ご卒業された会員の方のご報告に誤りがありました。ここに謹んでお詫び申し上げますと共に、訂正を致します。

事務局だより

一宮曹青

◎令和二年度 定例総会

日時：令和二年四月二十一日（火）

場所：仙台市 東禅院

（宮曹青・宗務所共催ソフトボール大会は、令和二年六月二日（火）、仙台市海岸公園野球場を検討）

一全国曹洞宗青年会

◎定期総会

日時：令和二年五月二十日（水）

場所：東京グランドホテル

一全日本仏教青年会

◎仏法興隆花まつり千僧大般若転読法要

日時：五月二十六日（火）

場所：奈良県 東大寺

※これらの行持は、昨今の事情により変更ある場合があります。

編集後記

年号が令和へと変わりましたが、日本各地での自然災害が続きました。

秋の台風災害、加えて年が明けてからは新型コロナウイルス流行の影響が本格化するといった次々と起きる諸問題に対し、青年会の活動も検討を重ねる中、活動の周知を無聖・HPにてお伝えする努力も同じく続けてまいります。

（広報編集委員長 松山宏成）



表紙写真 台風被害復旧作業の様子（糟川寺様）



無聖 第80号（令和2年3月31日発行）

表紙題字 宗務所長 三田村道雄 老師  
編集 宮城県曹洞宗青年会  
発行人 神作 紹道  
事務局 宮城県岩沼市早股字 寺北182 高林寺内  
TEL 090-2849-3830（専用）  
FAX 0223-29-4132  
URL http://miya-sousei.com  
E-mail info@miya-sousei.com